

おいでよ！！うつぐみの郷

5月3日(金) ~ 5月5日(日)

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	綾部に向け出発	施設整備	星空観察
2日目	遠足(舞鶴ツアー)	遠足(舞鶴ツアー)	粉もんパーティー まったりタイム
3日目	田植え体験	施設清掃 施設出発・解散	

一日目： 初日から最高の快晴でスタートしました。京都、尼崎、宝塚と順番に迎え、“うつぐみの郷”へ向かいました。向かう車内では、初めましての友達や、何度も会っている友達と仲良く談笑されていました。うつぐみに到着し、お弁当を食べました。施設の説明やルールを皆で確認した後、早速作業に取り掛かりました。本日の日中は【施設の整備】です。果樹園の整地や芋畑の拡張、畑の苗植えを選択内容とし、それぞれ選んで作業をしました。どの行程も器具や機械を使った本格的な作業なので、誰一人ふざけることなく、真剣に取り組まれていました。初めて触る機械に嬉しい様子が伺う事が出来、慣れてくると器用に操作されていました。お昼から始めた作業は、夕方まで行いました。暑い中、皆本当に頑張ってくださいました。お腹も相当減っていたので、夕飯は何度もおかわりをされて、多めに作った料理はペロリと完食しました。夜は綾部市内の“天文台パオ”に向かいました。屋内の展示や工作コーナー、プラネタリウムなど様々な体験が出来ました。帰る頃には眠気に負けそうな方もおられました。明日は舞鶴への遠足です。しっかり休んで、明日に備えましょう。



二日目： 昨夜は少し遅めの就寝であった事もあり、眠そうにされている方がチラホラおられました。朝食は定番の【パックサンド】です。作り方を知っている方も多くおられるので、教えあいながらスムーズに進みました。朝食を終え、準備を諸々済ませ、早速舞鶴市に出掛けました。舞鶴市の赤レンガでは“フェスタ”が開催されており、様々な催し物や食べ物、体験会があり、一日楽しめます。更に舞鶴湾を周遊するクルーズに乗り、間近で自衛隊の護衛艦を見ることが出来ました。皆、思っていた以上のスケールに感動と驚きに声を出しておられました。昼食は海軍カレーやご当地バーガーを食べたり、暑いのでかき氷を食べたりして「美味しい!!」と笑顔を見せていました。様々な箇所を見回り、かなり疲れたようで、帰りの車内では沢山の方が休まれています。うつぐみに戻ると夕飯づくりを始めました。今回は【こなもんパーティー】ということで、【焼きそば・たこやき・お好み焼き】を分担して作りました。作りつつ、食べつつと、交代しながら進めました。自分達で完成させた料理を美味しく口に頬張る姿は微笑ましかったです。夜はうつぐみ周辺を散歩しました。普段の住んでいる街中とは違い、街灯も少なく真っ暗ですが、虫の声や星空に魅力を感じる一時でした。



三日目： 気候も程よく、目覚めの良い朝を迎えました。起床後、素早く片付けを済ませ、朝食を食べました。今回ご参加いただきました皆さんの食欲はとても旺盛で、こちらが用意している量を完食するほどで、朝から盛り沢山召し上がっていました。午前中は今回の目玉プログラム【田植え体験】です。初めて田んぼに入る方も多く、泥を踏むなんとも言えない感触に、当初は抵抗を感じておられましたが、途中からは苗を植え込む作業に必死で、騒ぐ声はなくなりました。次々と苗を植えながら、お米が出来る九月を楽しみにされている姿が伺えました。手足だけでなく、衣類も泥だらけになりましたが、それを嫌がる方は一人もおられませんでした。区画全てに苗を植え、うつぐみに戻り、泥を落とし、着替えを済ませてから昼食を取りました。最後のうつぐみでの食事は【ラーメン】です。みんなにとって大好物なのと、田植体験でお腹が減っていたことが相成って、すごい勢いで食べておられました。食後は施設に感謝を込めての清掃時間【うつぐみタイム】です。利用した場所を隅々までキレイにしました。やる事がなくなると、「次どこをしたらいい?」と積極的に聞いてこられるほど、ふざけることなく真剣に取り組んでいただきました。そして、集合写真を撮り、施設を出発しました。動き続けた三日間だったため、帰りの車内は少し談笑の声は聞こえますが、ほとんどの方が休まれています。今回、苗を植えたので、「次回の稲刈りが楽しみだね!!」とお互い参加の約束を交わし、解散していきました。



<キャンプ総括>

最高のGW晴れの三日間を過ごすことが出来ました。今回ご参加いただきました皆さんの中で何度も来られている方は、率先して準備や片付けをいち早く動かしていました。私が皆さんに利用当初から伝えている、【自ら動かないと始まらないし、損をするのは自分】を体現し、理解されているからであると思います。皆、利用当初は何事も受け身が多く、言われてから渋々動かしていました。そこから、自ら動いた方が、選択肢が増え、得をすることを学び、自発的に動かれていきます。更に成長されると、自身の損得で動くのではなく、全体の利益に対して動かれます。そうした成長の過程を明確に伺えるのが『うつぐみの良さ』であると感じております。今回初めてご参加いただいた方も三日間の中で、成長の種は植えられたので、次回からの成長を楽しみにしております。

(竹中 哲郎)

最後に…

うつぐみの郷の利用を通じて、『食育』について学んでいただきます。田植えや稲刈り、整地など、手間暇かけて行う体験を通して、収穫の喜びや楽しさを感じ、食べ物に対する価値観を変えていただきます。また、農業の大変さ、苦勞さも感じていただきます。そうした総合的な経験が、【食】への感謝や大切さに繋がり、食事に対する姿勢や思いにも影響を及ぼすと考えております。それがうつぐみの郷で学べる『食育』と考えております。食事は一生かけて関係してくる大切な一部です。だからこそ、今のうちから改善していただきたく、促して参ります。少し口うるさくなることもありますが、どうかご了承お願い致します。